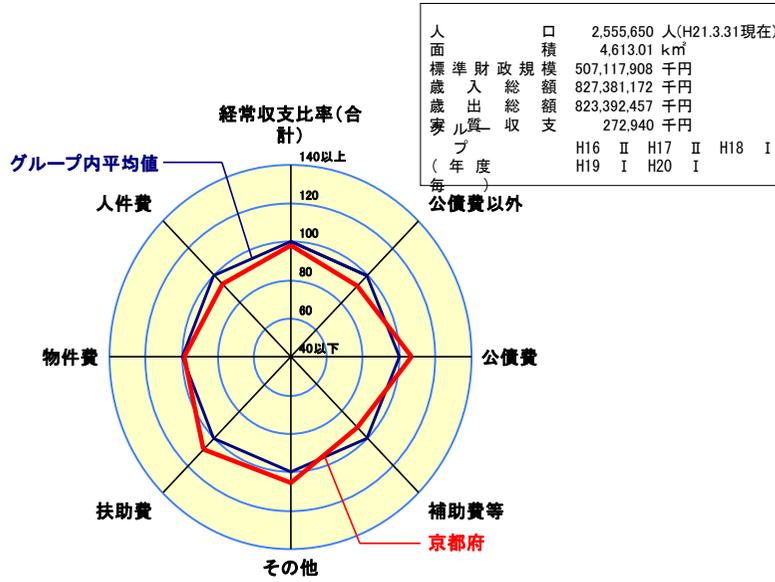
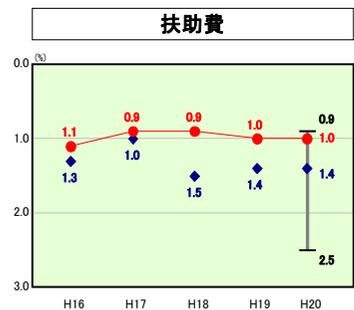
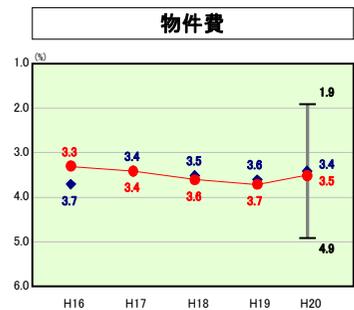
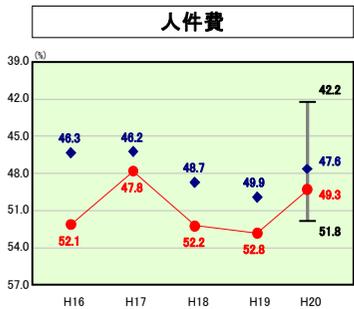
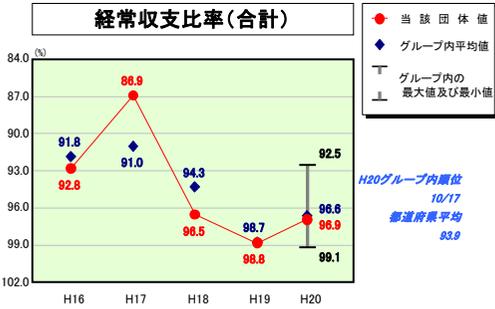
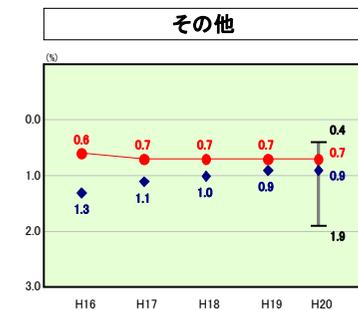
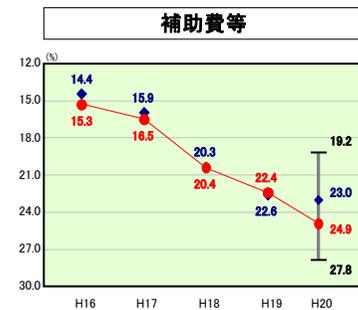
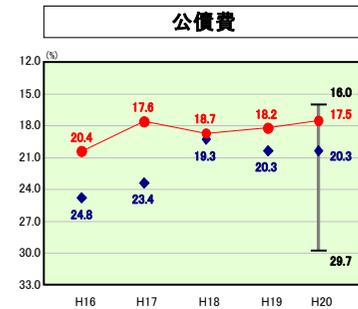
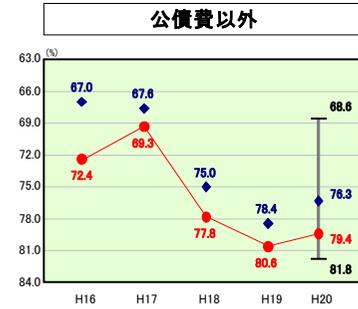


# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析



人口	2,555,650 人(H21.3.31現在)
面積	4,613.01 km <sup>2</sup>
標準財政規模	507,117,908 千円
歳入総額	827,381,172 千円
歳出総額	823,392,457 千円
繰上収入	272,940 千円
グループ	H16 II H17 II H18 I
(年度)	H19 I H20 I



- ※1 このレーダーチャートは、当該団体とグループ内平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 グループとは、道府県を財政力指数の高低によって4つに分類したものである。  
〔Iグループ 0.500以上1.000未満、IIグループ 0.400以上0.500未満、IIIグループ 0.300以上0.400未満、IVグループ 0.300未満〕

### 分析欄

#### 人件費

法令で定数が定められる教職員及び警察官の職員数が全体の4分の3を占めることにより人件費の割合が高くなる構造にある。今後更に、給与費プログラムに基づき、給与構造改革の推進、内部管理部門をはじめとする事務職員定数の削減等により人件費の圧縮に努める。

#### 公債費

公共事業をはじめとする投資的経費の重点化、交付税措置のある起債の活用等により、公債費に係る経常収支比率及び人口1人当たりの決算額ともに類似団体平均を下回っている。今後も、公債費プログラムに基づき、公債費の適正な管理を進める。

#### 物件費・補助費等

補助費等は、介護給付費負担金などの社会保障関係経費の増等により前年度より上昇した。今後も少子高齢化に伴い増加が避けられないことから、「府民満足最大化プラン」に基づき、府民ニーズの把握や事業仕分け等による施策の再構築を進め、経費の圧縮に努める。

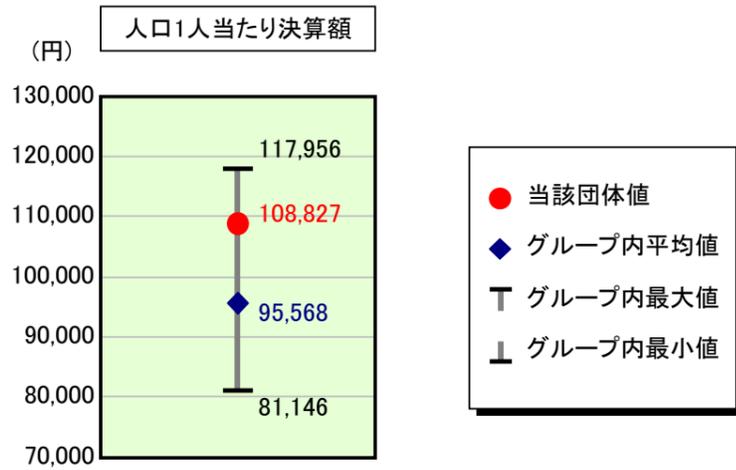
#### 普通建設事業費

公共事業をはじめとする投資的経費の重点化により、人口1人当たり決算額の増減率の過去5年間の平均は約5%の減少率となっている。今後も、公債費プログラムに基づき、公債費とあわせた普通建設事業費の管理を進める。

# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

京都府

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



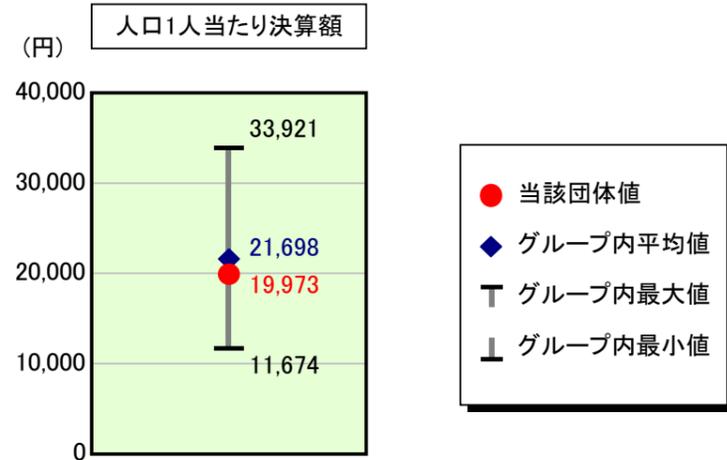
### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	
人件費	303,455,827	118,739	104,420	13.7
賃金(物件費)	607,771	238	170	40.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	1,032,379	404	597	▲ 32.3
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	243,721	95	48	97.9
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	4,144,000	1,622	963	68.4
▲退職金	▲ 31,360,308	▲ 12,271	▲ 10,630	15.4
合計	278,123,390	108,827	95,568	13.9

### 参考

	当該団体	グループ内平均	対比(差引)
人口100,000人当たり職員数(人)	1,114.82	1,011.02	103.80
ラスパイレス指数	100.0	99.4	0.6

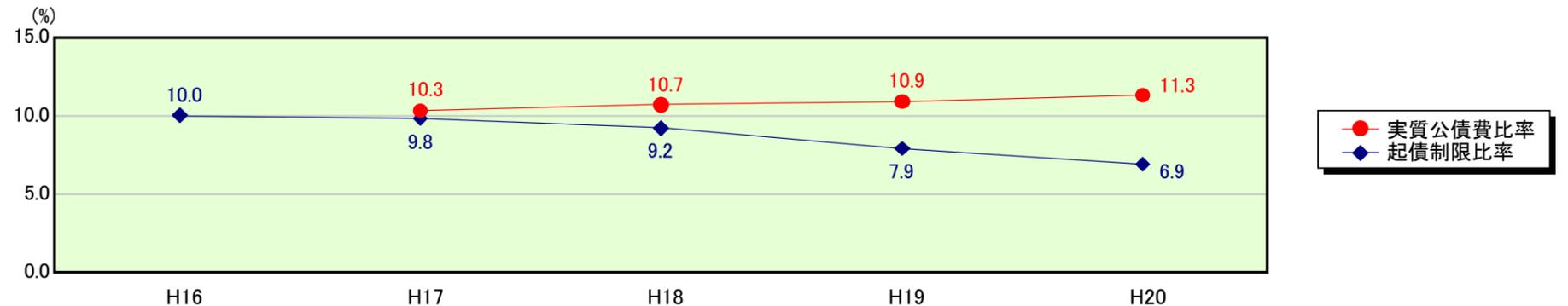
## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	68,163,486	26,672	25,511	4.6
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	38,630,047	15,116	16,318	▲ 7.4
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	4,217,868	1,650	1,400	17.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	-	-	45	-
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	1,533,566	600	806	▲ 25.6
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	26	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 61,500,890	▲ 24,065	▲ 22,406	7.4
合計	51,044,077	19,973	21,698	▲ 8.0

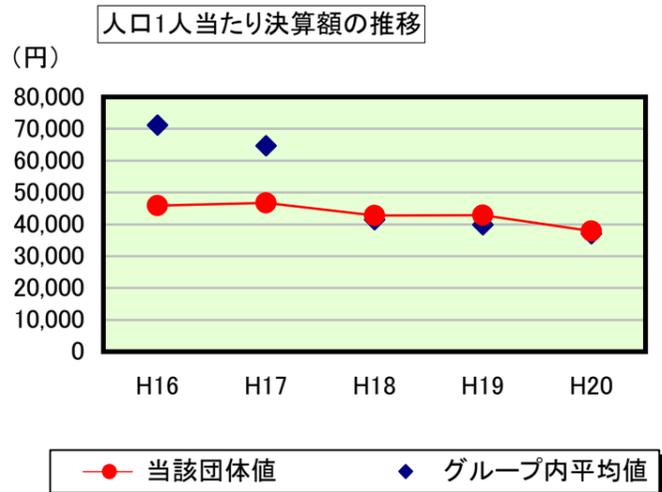
### ※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

京都府

## 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	グループ内平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H16	117,596,235	45,843	▲ 7.5	71,194	▲ 11.4	3.9
うち単独分	52,781,654	20,576	▲ 0.9	30,923	▲ 8.9	8.0
H17	119,996,972	46,757	2.0	64,633	▲ 9.2	11.2
うち単独分	53,357,239	20,791	1.0	27,132	▲ 12.3	13.3
H18	109,680,363	42,806	▲ 8.5	41,430	▲ 35.9	27.4
うち単独分	48,541,590	18,945	▲ 8.9	18,446	▲ 32.0	23.1
H19	109,566,717	42,824	0.0	39,894	▲ 3.7	3.7
うち単独分	46,191,583	18,054	▲ 4.7	17,501	▲ 5.1	0.4
H20	96,745,118	37,855	▲ 11.6	37,006	▲ 7.2	▲ 4.4
うち単独分	42,128,915	16,485	▲ 8.7	15,712	▲ 10.2	1.5
過去5年間平均	110,717,081	43,217	▲ 5.1	50,831	▲ 13.5	8.4
うち単独分	48,600,196	18,970	▲ 4.4	21,943	▲ 13.7	9.3